



## 今日のトピック インド株式市場はもみ合う展開（2020年2月後半） SENSEXは2月初に反発後、一進一退

【インド市場の推移】

インド市場	基準日	騰落率または変化幅 (%)			
	2月19日	1週間	1か月	6か月	1年
為替レート					
円/ルピー (円)	1.56	0.8	0.4	4.2	0.4
ルピー/米ドル (ルピー)	71.56	0.3	0.7	0.2	0.3
金利 (%)					
政策金利	5.15	0.00	0.00	▲0.25	▲1.10
10年国債利回り	6.39	▲0.09	▲0.24	▲0.20	▲0.98
株価指数 (ポイント)					
SENSEX	41,323	▲0.6	▲1.5	10.5	16.9
NIFTY中型株100	17,990	▲1.0	▲0.5	13.4	11.5

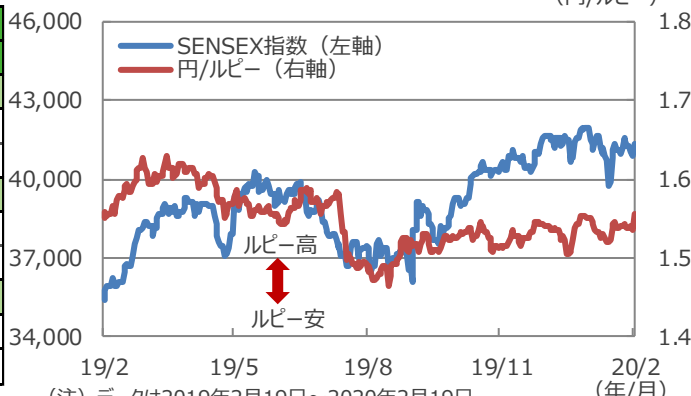
(注) データは2020年2月19日基準。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

(ポイント)

【インドの株式、通貨】

(円/ルピー)



(注) データは2019年2月19日～2020年2月19日。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

### ポイント1 SENSEXは反発後、高値圏でもみ合う展開

- インド株式市場は、2月初に急落しましたが、その後切り返し、高値圏でもみ合っています。代表的な株価指数のSENSEX指数は、2月1日に発表された2020/21年度の政府予算案が市場の期待に届かなかったことから急落し、節目の40,000ポイントを割り込みました。しかし、中国当局の資金供給などで中国株が上昇すると、新型肺炎による世界経済への影響が短期間にとどまるとの見方などから買戻しが入り、急反発しました。その後は、新型肺炎の感染拡大への警戒が再び広がったことや、通信会社への貸倒懸念から銀行株が売られたことなどにより上値が重くなり、41,000ポイントを挟み、もみ合う展開となっています。

### ポイント2 上昇が続くインドの物価は今後鈍化し、RBIは利下げ再開へ

- インド統計局が12日に発表した2020年1月の消費者物価指数（CPI）は前年同月比7.6%上昇しました。昨年12月の同7.4%からさらに加速し、14年5月以来の高水準となりました。ただし、悪天候で高騰した玉ねぎなどの価格はピークに達した模様です。今後、経済活動の低迷と原油価格の下落により、CPIインフレ率は鈍化するとみられるため、インド準備銀行（RBI）は先行き追加の利下げを行うと予想しています。

### 今後の展開 高値圏でもみ合いが続く

- アジアでは新型肺炎の影響が懸念されるものの、中国との経済的結びつきが低いインド株式市場は域内で消去法的に選択される可能性があるほか、原油価格の下落が支えとなり、当面底堅い展開が見込まれます。一方で、企業業績見直しには改善傾向がみられず、実質的な株価バリュエーションに割安感がないことが上値を抑えそうです。

### ここもチェック! 2020年2月7日 インド株式市場は振れの大きい展開（2020年2月前半） 2020年2月3日 インドの『予算案』、歳出が13%増

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。